

WDA00X-BLESDK  
WTI\_BLEライブラリ導入ガイド

No	内容	日付	作成	備考
0	新規作成	2013/6/21	伊佐	-
1	ライブラリ登録方法を修正	2013/7/18	伊佐	-
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

ワイヤレステクノロジー株式会社

## 目次

1. 事前準備	3
2. プロジェクトの作成	3
3. CoreBluetooth Frameworkの追加	4
4. WTI_BLEライブラリの登録	5
5. 実装について	6

WTI SDKライブラリの導入手順を説明します。  
本書では、Xcode v4.6.2をベースとして作成しています。

## 1. 事前準備

事前に下記5点をご用意ください。

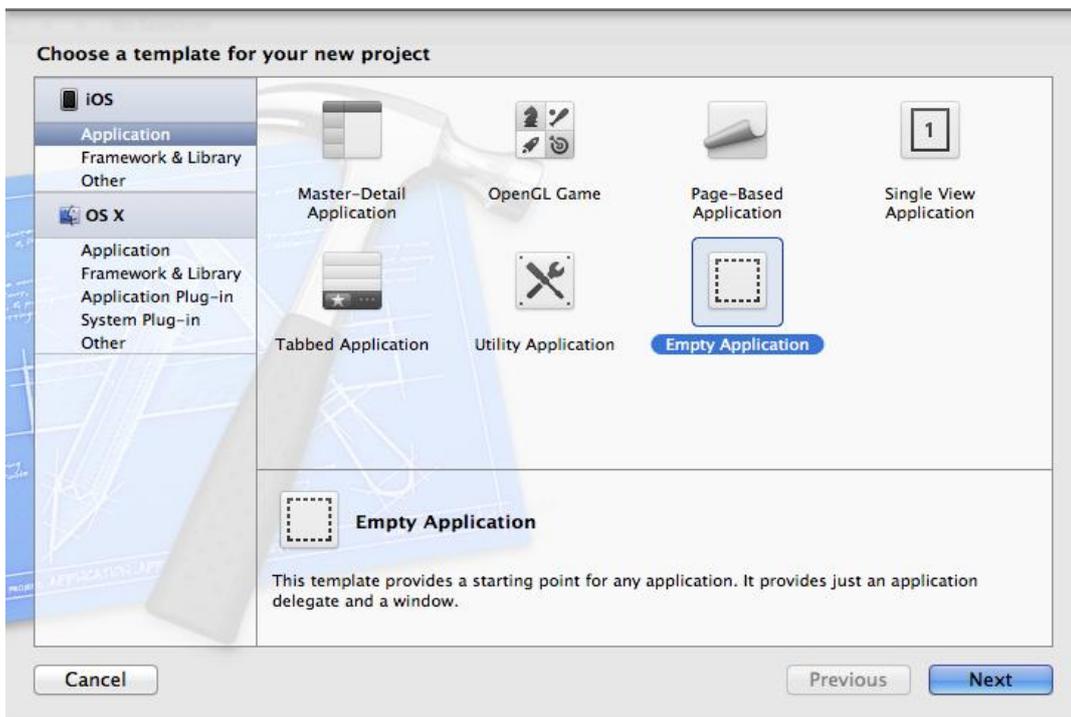
- ・ WTI\_BLEライブラリ
- ・ WDA001-BLESDK／WDA003-BLESDK
- ・ Xcodeが動作可能なMac (MacBook／iMac／Mac mini)
- ・ iOSデバイス (対応機種詳細は[ WDA00X-BLESDK リファレンスマニュアル ]を参照ください)
- ・ iOS Developer Program

## 2. プロジェクトの作成

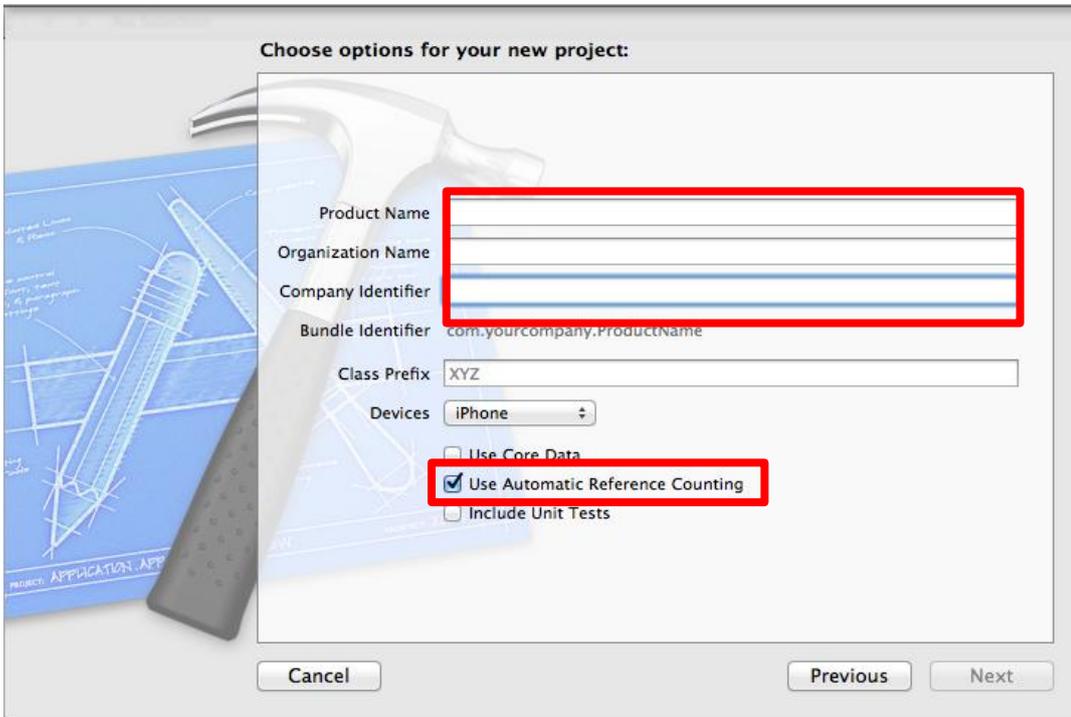
Xcodeを起動し、新規プロジェクト(Empty Application)を作成します。

[ File ] > [ New ] > [ Project... ] > [ Empty Application ]

本書及びサンプルではInterface Builderを使用していない為、[ Empty Application ]を選択していますが、目的に合わせてプロジェクトの種別を選択してください。

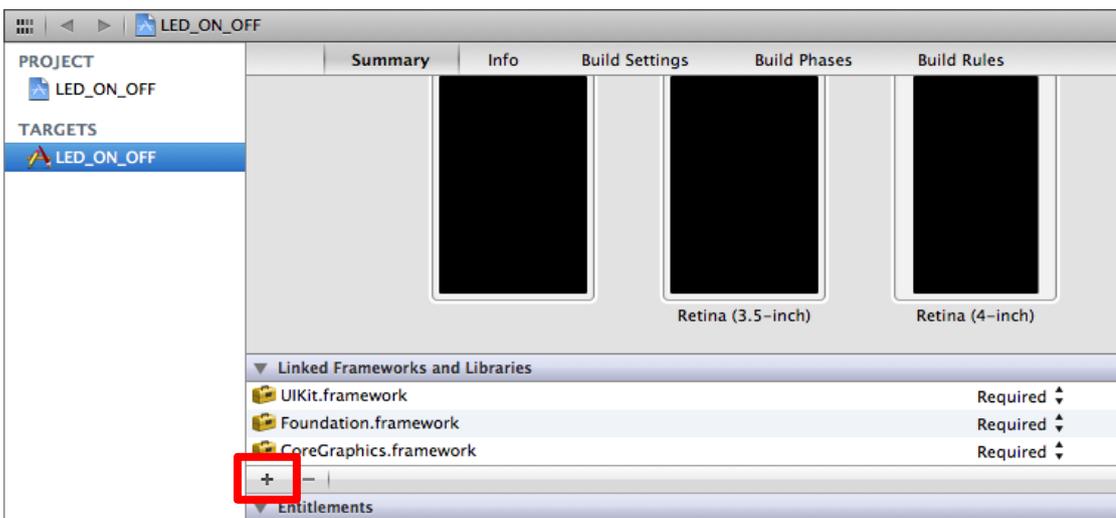


各入力項目に必要な情報を記載して下さい。  
 また、[ [Use Automatic Reference Counting](#) ]に必ずチェックを入れてください。

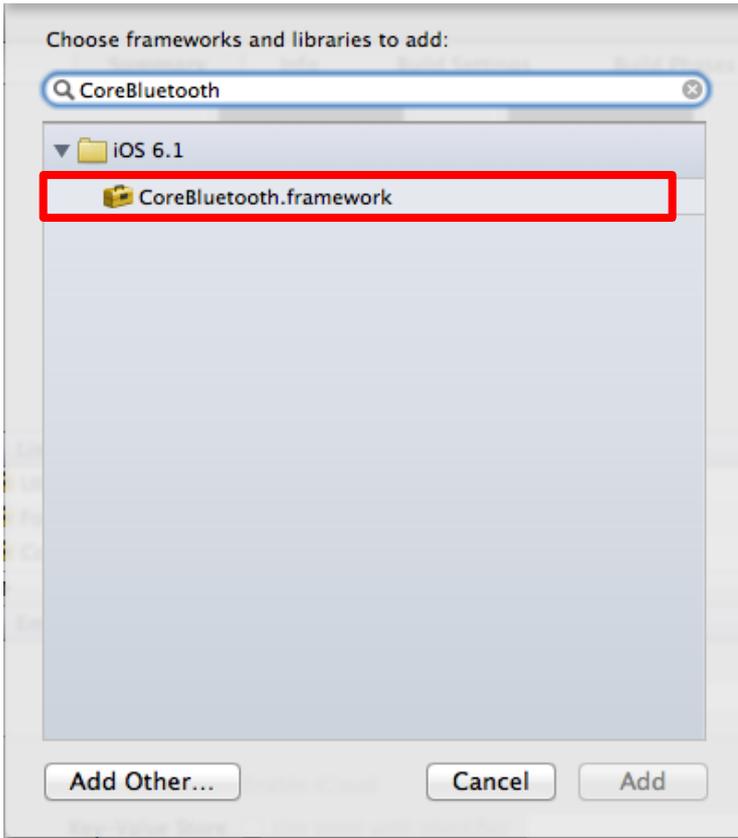


### 3. CoreBluetooth Frameworkの追加

[ TARGETS ]を選択し、[ Summary ]を表示します。  
 その後、[ [Linked Frameworks and Libraries](#) ]項の追加[ + ]ボタンを選択してください。

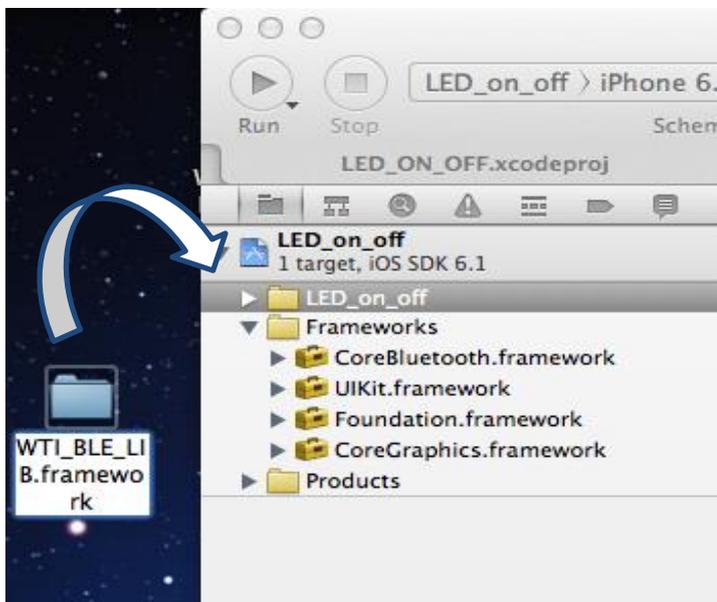


追加するFrameworkの選択画面が表示されるので、検索ボックスに[ CoreBluetooth ]と入力して下さい。  
 [ CoreBluetooth.framework ]のみが検索結果として表示されるので、これを選択し、[ Add ]ボタンを選択して下さい。

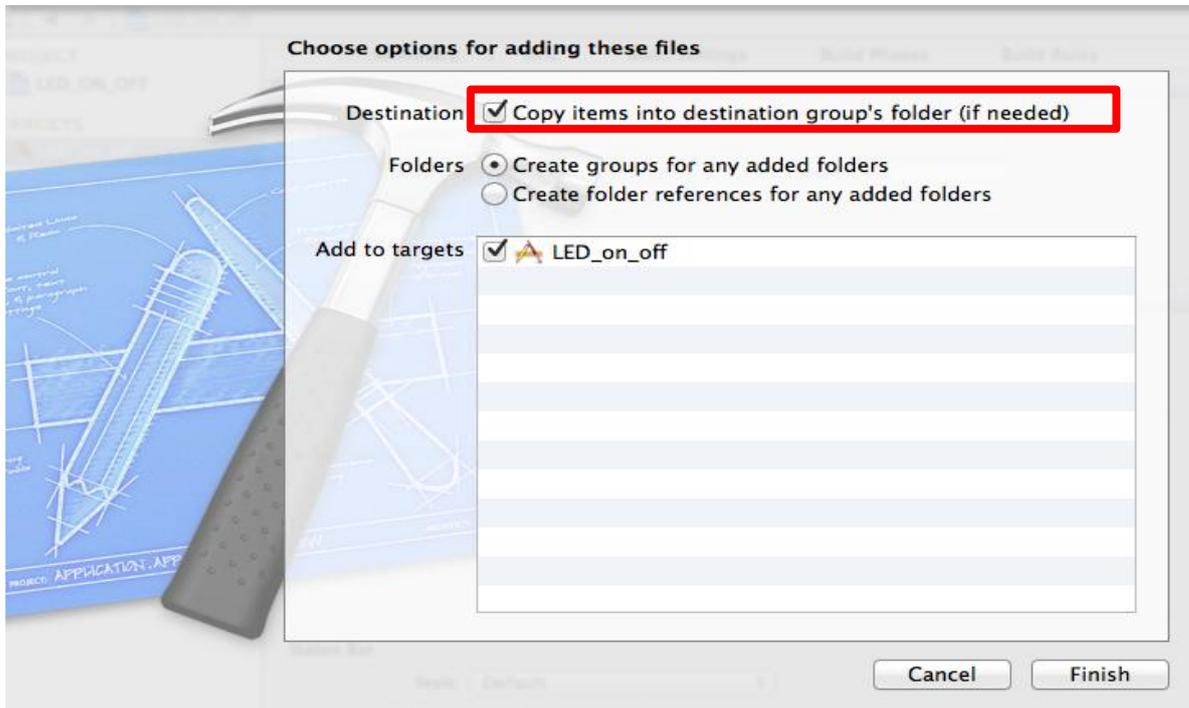


#### 4. WTI\_BLEライブラリの登録

事前に用意していたWTI\_BLEライブラリ([ WTI\_BLE\_LIB.framework ]ディレクトリ内ファイル)をディレクトリごとXcodeのプロジェクトにドラッグ & ドロップする事でライブラリが追加できます。



プロジェクト内にディレクトリをドラッグ & ドロップすると、ファイル追加の確認画面が表示されます。  
 [ Copy items into destination group's folder ] にチェックを入れている場合、  
 プロジェクト内に新規で [ WTI\_BLE\_LIB.framework ] ディレクトリが生成されます。  
 本項目までがライブラリの導入手順となります。



## 5. 実装について

ライブラリで実装している機能はリファレンスマニュアルに記載してあります。  
 また、ライブラリにサンプルプログラム(※)を付属していますので、詳細な使用方法は、2点を参照下さい。

- ※ サンプルプログラムは下記の機能(それぞれ単体)で使用する為のサンプルとなります。
- ・ LED ON/OFF
  - ・ ブザー ON/OFF
  - ・ SW ON/OFF (WDA001-BLESDK限定)
  - ・ UART送受信
  - ・ 9軸センサ (WDA003-BLESDK限定)
  - ・ 温度・湿度センサ (WDA003-BLESDK限定)